

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの10月の販売室数が前年比72%減少とマイナスなのに対して、1月の販売室数は前年比39%増加とプラスに転じている。
	○	コンビニ(経営者)	販売量の動き	・来客数に変動はなく、必需品を買いに来る近隣の人や工事関係者が多い。
	□	スーパー(企画担当)	単価の動き	・1月9日からの、まん延防止等重点措置の適用に伴い、外出自粛や休校等の影響で再び単価需要が発生し、客単価が上昇するも来客数が伴わず売上が伸び悩む。
	□	スーパー(販売企画)	販売量の動き	・沖縄県では1月9日よりまん延防止等重点措置が適用されて、買上点数が少し増えて来客数が少し減る状況にあり、単価需要が実感できる。
	□	住宅販売会社 (代表取締役)	販売量の動き	・個人住宅などについて、ある程度の建築契約受注はできているが、コロナ禍の影響で投資建築案件が減ってきており、この先の見通しが読めない。
	▲	コンビニ(副店長)	来客数の動き	・年末年始に人流は戻ってきたが、今月4日以降に新型コロナウイルスオミクロン株新規感染者数が増加し、日を重ねるごとに来客数が大幅に減少している。特に外出者が減る深夜帯で影響が大きく見受けられる。
	▲	住宅販売会社 (役員)	お客様の様子	・毎年1～3月の期間、賃貸物件の動きが活発になる時期だが、まん延防止等重点措置に伴う外出自粛の最中で、問合せや物件の見学者数も例年に比較し減少傾向にある。
	×	商店街(代表者)	それ以外	・ここ数年まん延している新型コロナウイルスの新規感染者数が、最近また多くなってきている。それに伴って来客数が相当減っており、商店街全域が影響を受けて売れない状態で大変困っている。
	×	一般小売店 [酒](店長)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染のまん延により、飲食店や観光業界もストップしている。新型コロナウイルス対策も現時点で、打開策がない。
	×	百貨店(店舗企画)	来客数の動き	・年が明け1月から更なる景気回復を期待していたが、沖縄では前年末から新型コロナウイルスオミクロン株の感染が発表され、1月初旬よりまん延防止等重点措置が適用され、来客数が一気にダウンしている。前年1月も中旬より一部地域で緊急事態宣言が発出されていたが、それ以上に厳しい集客となり売上も前年を下回っている。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・やはり新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により、まん延防止等重点措置が適用されたことで、来客数が減少している。
	×	その他専門店 [陶器](製造)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置で観光客が激減している。
	×	その他飲食[居酒屋] (経営者)	来客数の動き	・年末年始で前々年の70%ぐらいまで入客数が戻ってきていたが、新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急増とまん延防止等重点措置の適用により、今月は一気に95%減少で休業に入っている。
	×	観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とまん延防止等重点措置の適用により、宿泊部門のキャンセルが多数で、修学旅行の予約も全て消えている。料飲部門の宴会予約も全て消えている。
	×	旅行代理店(マネージャー)	販売量の動き	・10～11月と取扱量が回復傾向になってきたと思っていたら、新型コロナウイルスの感染者数が増え、まん延防止等重点措置が適用された途端、キャンセルが急増し振出しに戻る。
	×	通信会社(営業担当)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えるのに反比例して来客数が減り、予約のキャンセルも多くなっている。商業施設などで出張販売も行っているが、人通りが少なく厳しい状況である。
	×	観光名所(職員)	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用後から予約がストップし、3月までキャンセルされている。
企業	◎	－	－	－

動向 関連 (沖縄)	○	食料品製造業 (役員)	受注価格や販売 価格の動き	・まん延防止等重点措置の沖縄県への適用で観光、ホテル、及び給食関係への納品は減少しているが、それ以外への納品は増加している。
	□	窯業土石業(取締役)	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事の見積依頼に大きな変化はなく、受注量、生産量も横ばいの状況である。
	▲	建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・具体的な商談に進む客の動きが止まっている。
	▲	会計事務所(所長)	それ以外	・所得増を伴わない物価の上昇感があり、消費動向も先細るとの懸念がある。
	×	輸送業(経営企画室)	取引先の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数の急拡大によるまん延防止等重点措置の影響で本土との行き来が制限され、商談に遅れが生じている。また、飲食等の発注が減少傾向にある。3か月前の制限のない状況と比べると景気は悪くなっている。
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—	—
	○	—	—	—
	□	人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	・求人案件は増加傾向にあるが、求職者の動きが鈍く人手不足感は否めない。
	□	学校[大学] (就職支援担当)	求人数の動き	・求人数について著しく減ってはならず、福祉関係などの求人数は一定数集まっている。
	▲	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・派遣依頼の減少は大きくはないが、新型コロナウイルスの影響による人材欠員で仕事が停滞低迷しているように見受けられる。またまん延防止等重点措置は、前回より経済への影響が大きいともみている。
	▲	求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・3か月前は緊急事態宣言が解除となり多くの企業が求人活動を再開していたが、急速な新型コロナウイルス感染拡大により今月から求人停止せざるを得ない企業が多くなっている。それでも、前年9月以前の緊急事態宣言下と比較すると、求人数はやや増えている。
	▲	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行による求人数の取消しなどはなかったが、前年より求人数の増加率が低下している印象がある。
	▲	学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数の急拡大のため企業も思うようには動けず、採用活動自体が停滞しているように見受けられる。
×	—	—	—	